

データサイエンス・リテラシー(DSL)教育プログラム

1. この教育プログラムは、全学共通の学科横断的教育プログラムであり、「数理・データサイエンス・AI」に対する関心があり、それらを活用できる基礎的な能力の修得に特化した特別プログラムです。(文部科学大臣から認定されたプログラム)
2. このプログラムの目的は、「数理・データサイエンス・AI」に対する関心を高め、かつ、その適切な理解をし、活用できる基礎的な能力(リテラシー)の育成をめざし、この分野を活かせる学生の社会力を養成します。
3. このプログラムには、本学入学時はもちろん、年次を問わず前期後期いずれからでも参加可能です。
4. このプログラムに参加する場合は、履修登録期間内に『データサイエンス・リテラシー(DSL)教育プログラム登録申請書』の提出(教務課)が必要です。参加者には「登録証明書」をお渡しします。

【説明会スケジュール】

前期 新入生対象: 4月 8日(月) 17:15～

在学生対象: 7月18日(木) 17:15～

後期 在学生対象: 1月 7日(火) 17:15～

(1) 学修目標および求める人物像

1. 学修目標

- ① データ・AIが社会や身近な生活にどのように活用されつつあるかを理解し、今後の動向を予測できる。
- ② 様々なデータの活用事例から多様な分野の知見を組み合わせることで新たな価値を創出できることを理解する。
- ③ データ・AI 活用に当たっての倫理など留意事項を知り、適切な利用ができるようになる。

2. 求める人物像

- ① データのわかる(に強い)ビジネスパーソン、経営者、公務員、銀行員
- ② データサイエンティスト
- ③ 情報倫理に明るい人材

(2) 履修カリキュラム

履修カリキュラムから修得した単位は、卒業要件に組み入れることができます。

※次ページの科目は各学科の専門科目配当表に含まれていますので、プログラムに参加しなくても履修は可能です。

(3) 修了証書授与要件

次のすべての要件を満たした学生は、「データサイエンス・リテラシー(DSL)教育プログラム」を修了したものとみなし、修了証書を授与します。修了証書は、WebClass からデジタルデータ(PDF)でも取得できます。

1. 必修科目:「法と情報」「データ分析」を履修し、4単位(各2単位)を修得していること。
2. 選択必修科目:グループA科目群から1科目を履修し、2単位を修得すること。
3. 自由選択科目群:グループB科目群から4科目以上を履修し、8単位以上を修得すること。

(別表)「データサイエンス・リテラシー(DSL)教育プログラム」共通科目・選択科目・一般教育科目

①専門科目(必修)

開講学科	科目名	単位数	配当年次				備考
			法学科	経済学科	経営学科	商学科	
1 法学科	法と情報	2	1	1	1	1	

②一般教育科目(必修)

	科目名	単位数	配当年次				備考
			法学科	経済学科	経営学科	商学科	
2 3.1	データ分析	2	1	1	1	1	

③選択必修科目 グループA科目群

1科目を履修し、2単位を修得

開講学科	科目名	単位数	配当年次				備考
			法学科	経済学科	経営学科	商学科	
法学科							
経済学科							
3 経営学科	情報と職業	2	1	1	1	1	
4	情報技術論Ⅱ	2	2	2	2	2	
5	情報社会と情報倫理	2	1	1	1	1	
商学科							

④自由選択科目 グループB科目群

4科目以上を履修し、8単位を修得

開講学科	科目名	単位数	配当年次				備考
			法学科	経済学科	経営学科	商学科	
法学科							
6 経営学科	データサイエンス入門Ⅰ	2	1	1	1	1	
7	データサイエンス入門Ⅱ	2	1	1	1	1	
8	経済統計論Ⅰ	2	2	2	2	2	
9	経済統計論Ⅱ	2	2	2	2	2	
10 経営学科	経営統計学Ⅰ	2	2	2	2	2	
	経営統計学Ⅱ	2	2	2	2	2	
	情報システム技術	2		2	2	2	
	教育におけるICT活用	2	1	1	1	1	※2022年度以後入学生のみ
	情報ネットワーク論Ⅰ	2	3	3	3	3	
	応用情報処理Ⅰ ※廃止	2	－	－	－	－	
15 商学科	市場調査論	2	3	3	3	3	
商学科							